

国際交流フェスティバル2020

2月1日、コミュニティセンターみずしろギャラリーで、国際交流フェスティバル2020が開催されました。

これは、市内の団体や個人の国際活動について広く知ってもらい、多文化に触れてもらおうと、今年初めて実施されたもの。会場では、国旗を当てるクイズの他、行田外国語観光ガイドボランティア会による観光動画の上映などが行われました。また、世界各国の30着もの民族衣装が試着できるとあって、多くの来場者らが実際に着用し、外国に思いをはせながら、楽しそうに写真を撮っていました。



第10回行田市少年少女囲碁大会

2月1日、中央公民館で第10回行田市少年少女囲碁大会が開催されました。

当日は、19路盤戦のノーハンデ戦とハンデ戦、13路盤戦などの対局の他、プロ棋士による指導碁や親子入門教室の部門があり、合わせて市内外から中学生以下の83人が参加。最善の一手を探して盤上を見つめる子供たちは、大人顔負けの集中力を発揮していました。



第4回朗唱まつり

2月16日、産業文化会館ホールで、第4回朗唱まつりが開催されました。

これは、公益財団法人忍郷友会が藩校教育を現代に生かすことを目的に、忍藩子ども塾と進脩塾塾生の発表の場として開かれたものです。当日は、老本幼稚園の園児や埼玉小学校の児童らも参加して漢詩を素読。その凛とした姿に会場の大人たちから盛大な拍手が送られました。また、催しの最後には塾生が来場者とともに「大学」を声高らかに唱えると、会場が一体感に包まれました。



第66回文化財防火デー

1月26日、城西にある正覚寺で、「文化財防火デー」にちなんだ文化財保護の消防訓練が行われました。

この日は、地元住民や消防団員ら約90人が参加し、境内での枯れ草火災が本堂に燃え移りそうになったことを想定。文化財持ち出し訓練や消火器と水バケツリレーによる消火訓練を行いました。参加者は、さまざまな体験を通じて文化財を火災から守る大切さを再認識したようです。



GYODA CITY 写真館 PHOTO NEWS

サケの稚魚放流会

2月14日、利根大堰下流で(独)水資源機構利根導水総合事業所によるサケ稚魚放流会が開催され、中央小学校3年生59人と星宮小学校3年生3人の児童が参加しました。

自然災害などで河川敷に流れ着いたごみを拾った後、子供たちは紙コップに入った体長2～4センチメートルの稚魚を利根川に優しく放流。稚魚が元気よく泳ぎだすと、「また戻ってきてね」と笑顔で見送っていました。

第22回公募行田市美術展

2月6日から9日まで、行田グリーンアリーナのサブアリーナで市制施行70周年記念事業第22回公募行田市美術展が開催されました。

会場には市内外から出品された絵画、工芸、書、写真の全323点を展示。来場者は並べられた作品をじっくりと観賞し、細部にわたって丹精込めて作られた美術品を褒めたたえていました。



地域包括ケアフォーラム 「認知症にやさしいまちづくり講演会」

1月24日、商工センターホールで「認知症にやさしいまちづくり講演会～徘徊しても安心なまち『行田』をつくる～」が開催されました。

講演では、公益社団法人認知症のひとと家族の会埼玉県支部代表の花保ふみ代さんから、認知症の方の特徴や、迷っている高齢者の方への声掛け方法が語られ、参加者は声を掛け合う演習に熱心に取り組んでいました。また、行田警察署員や行田市認知症地域支援推進員からの説明に耳を傾け、認知症への理解と優しいまちづくりへの意欲を高めていました。



節分祭豆まき

2月3日、行田にある行田八幡神社で節分祭豆まきが行われました。

「鬼は外!福は内!」の掛け声とともに、年男・年女や忍城おもてなし甲冑隊らが福豆や菓子を勢いよくまきました。景品と交換できる当たり券付きの福豆もあり、参拝者らは一つでも多く手に入れようと、手を伸ばして受け取っていました。

